

平成24年度 桜川市決算報告

ついで、市債、県
支出金、諸収入、地方消費税
交付金の順になっています。

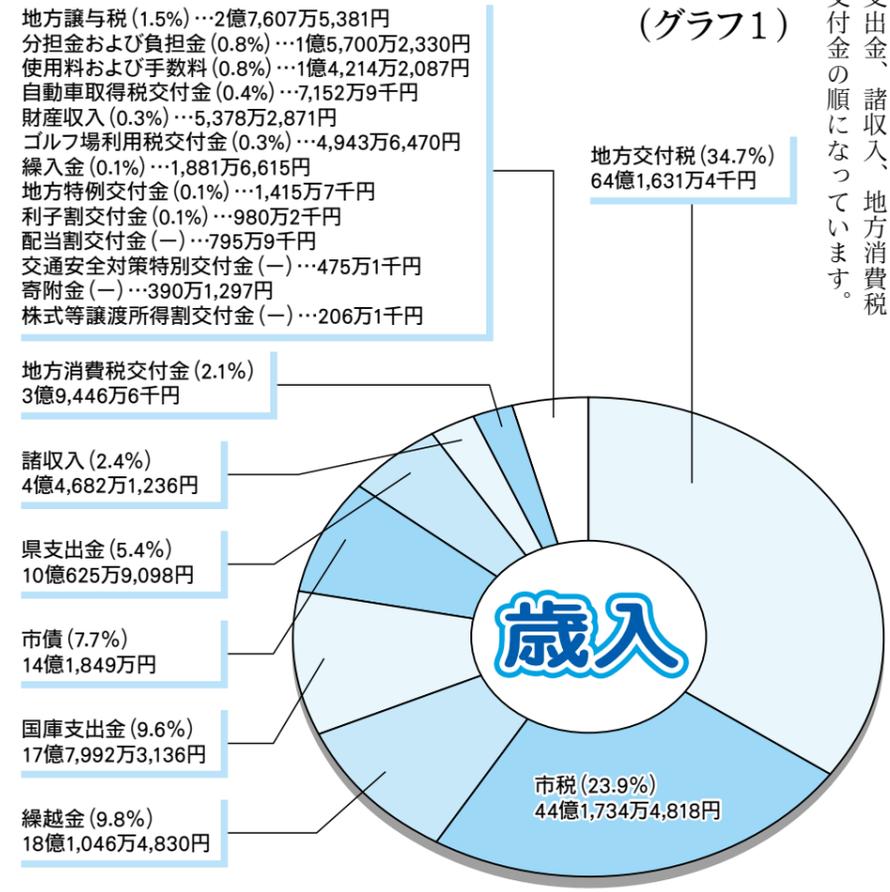
一般会計・
歳入の内訳

185億149万
9,169円

歳入は、市の財源として入
ってくるお金です。その決算
額は185億149万9,1
69円。グラフ1(下)・円
グラフは、その内訳を表し
たものです。

所得税・消費税などの国税
の一部を国から交付された地
方交付税が約35%を占めてい
ます。次いで、市民の皆さん
に納めていただいた市民税な
どの市税が約24%。続いて、
繰越金が約10%。児童手当負
担金・子ども手当負担金、生
活支援や公共施設改修など特
定事業に対する国から支出さ
れた国庫支出金も約10%とな

(グラフ1)



歳入・歳出総額

区分	歳入	歳出
一般会計	185億149万9,169円	165億3,859万3,639円
特別会計	国民健康保険	57億5,417万3,036円
	農業集落排水事業	4億858万600円
	公共下水道事業	7億720万4,781円
	介護保険	34億9,718万860円
	介護サービス事業	680万6,608円
後期高齢者医療	3億3,780万7,486円	3億3,474万5,074円
合計	297億7,896万2,513円	272億4,628万4,598円

一般会計・
歳出の内訳

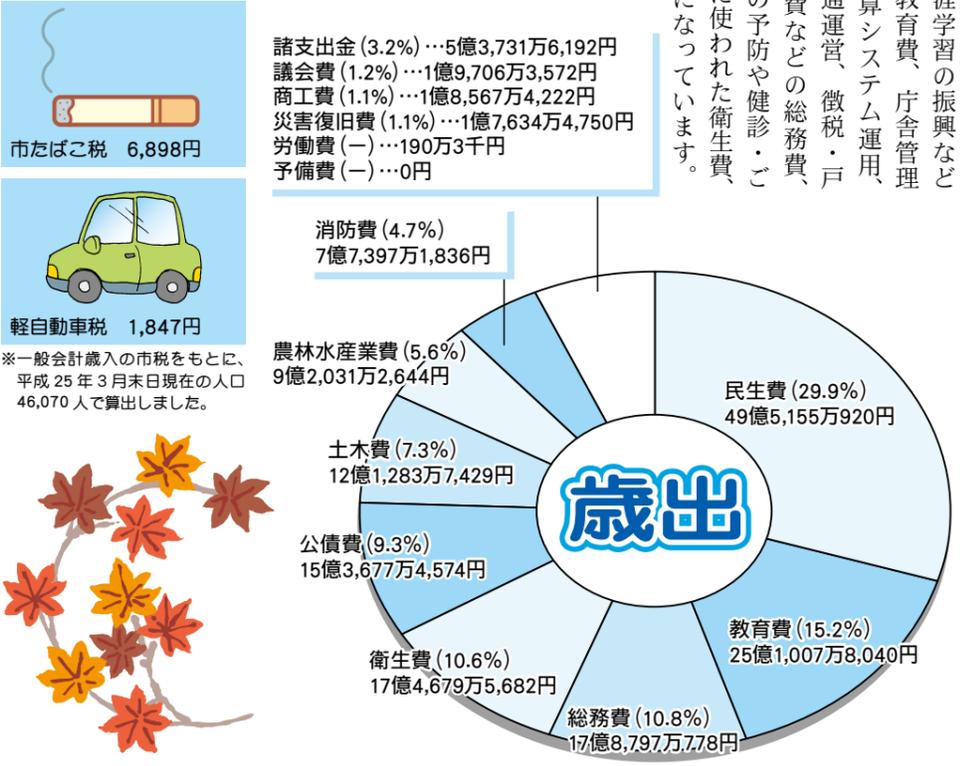
165億3,859万
3,639円

歳出は、市民の皆さんのた
めに使われるお金です。その
決算額は165億3,859万
3,639円。グラフ2(下)
円グラフは、歳出を目的別
に表したものです。

児童手当・子ども手当やお
年寄り、身体の不自由な方
などのため使われた民生費が最
も多く、次いで給食センター
建設事業や学校施設の耐震補

強工事、生涯学習の振興など
に使われた教育費、庁舎管理
や庁舎内電算システム運用、
デマンド交通運営、徴税・戸
籍、選挙経費などの総務費、
続いて病気の予防や健診・こ
み処理などに使われた衛生費、
公債費の順になっています。

(グラフ2)



※一般会計歳入の市税をもとに、
平成25年3月末日現在の人口
46,070人で算出しました。

水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的事業 水道料金による収入と、水を作ったり家庭に送ったりするための維持管理などを中心とした営業活動の収支	9億3,290万2,412円	9億6,705万774円
資本的事業 古くなった水道施設の改良や、新しい施設を造るために必要な資金の収支	1億520万9千円	3億1,777万3,532円

市民一人あたりでは

使われたお金
358,988円

子ども・お年寄り、
身体の不自由な
などのために
民生費 107,479円

学校施設の維持補
修や生涯学習振興
などに
教育費 54,484円

戸籍、庁舎管理や
選挙経費、情報管
理などに
総務費 38,810円

ごみ処理や公衆衛
生費に
衛生費 37,916円

市の借入金の返済
などに
公債費 33,357円

道路などの建設・
修繕などに
土木費 26,326円

農林業の振興を図
るために
農林水産費 19,976円

防災対策、消防・緊
急救命活動などに
消防費 16,800円

議会、商工労働
災害復旧などに
議会議費・議会議費・商工費・
災害復旧費・労働費 23,840円

※一般会計歳出をもとに、平成25
年3月末日現在の人口46,070
人で算出しました。